

ごあいさつ



経営管理委員会会長 柴田 篤郎 代表理事理事長 堀内 達也

皆様には、日頃より静岡県信連をお引き立ていただきまして厚くお礼申し上げます。

このたび「2018年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたのでご案内いたします。

本誌では、JAバンク静岡の概要、当会の経営方針・業務内容や近年の業績に至るまで広く取り上げ、皆様にわかりやすくお伝えすることを心がけて作成いたしました。ぜひご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当会は昭和23年の設立以来、農家組合員・地域の皆様の繁栄及び地域社会の発展に貢献することを使命に事業を展開させていただいております。これもひとえに皆様のご愛顧、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、ご高承のとおり、平成29年度の日本経済は、個人消費の持ち直しや、生産性向上に向けた設備投資等により内需が拡大し、国内景気は底堅く推移しました。

一方、金融面では、マイナス金利政策のもと運用利回りが低迷し、厳しい収益環境が継続する中、平成29年5月に改正された銀行法や平成29年11月に発表された金融行政方針により、すべての金融機関に顧客本位の業務運営やFintech 企業等との連携等、金融ビジネスモデルの抜本的な転換が求められています。

農業・JAを巡る情勢では、農業従事者の高齢化・減少による農業労働力の不足に加え、耕作放棄地の拡大等、厳しい環境に置かれています。また、「農協改革集中推進期間」の期限である平成31年5月末、改正農協法附則5年後条項の期限である平成33年3月末に向けて、JAグループは大きな正念場を迎えており、JAグループ一体となり自己改革を実践しているところでございます。

こうした情勢下、当会は「農業者・利用者・地域に選ばれ、成長し続けるJAバンク静岡の実現」を基本目標に掲げた『静岡県信連グループ中期経営計画（平成29～31年度）』の取組み初年度として、目標の達成に向けて邁進してまいりました。また、平成30年度につきましては、中期経営計画の中間年度として、農業所得増大・地域活性化等の実現に向け、グループ一体となりJAバンク自己改革の実践において目に見える成果につなげていくとともに、現中期経営計画の前倒し達成も視野に取組みを加速させていく所存でございます。

今後におきましても、引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月